



聖徒のための情報誌

今月号の内容

身延ご入山(1面)
第四十八回全国結集身延大会
聖徒の声(2面)
日蓮大聖人の歩まれた道
よろこびちゃんの質問箱
法華経のお話(3面)
よろこび法話(4面)

平成25年(2013年)6月1日(土)
6月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会長 新聞 智雄
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 105円
毎月1回1日発行

日蓮宗霊断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

身延ご入山
日蓮大聖人様の神秘
不可思議な出来事



日蓮宗霊断師会 総務局長
福岡県みやま市顕忠寺聖徒団团长
松尾 義隆

宗祖日蓮大聖人様は、「大難四ヶ度小難数知れず」という苦難のご生涯でしたが、法華経のご利益でしょう、神秘不可思議な出来事も数多くありました。そこで、身延入山後の大聖人様の霊験記について述べてみましょう。

小室の蛭

身延山の近くの、小室の水田には蛭が多くいたそう、手足にくっついて血を吸うので、水田を作る農夫、苗を植える女性は大変困っていました。それを聞かれた大聖人様は、田んぼの畦で「法華経」を唱えられました。するとどうでしょう。その時以来、蛭は人々の血を吸わなくなったばかりか、小室の蛭には頭に星の形が現れたといわれます。

鶺鴒の老人

石和(今の笛吹市)での事です。急に雨が降り出したので、雨宿りをしようとしていたら、川岸に灯火が見えたので、その方向へ向かいました。そこには大変瘦せた老人が立っていました。老人は鶺鴒をしており、「私は殺生を仕事としてきました。私を苦悩から救って下さい。」と頼みました。大聖人様は可哀想に思っ、お題目を唱え



られました。後から、老人も弱々しい声と一緒に唱えます。するとどうでしょう。「有難う御座いました。『法華経』の功德によって救われました。」と喜んだのです。太陽が昇ったら、老人も家も消え去って何も辺りには見えません。お弟子の日興上人と日向上人はびっくり驚かれましたが、大聖人様は「死者の世界を見たのだよ」と仰しやられたと言われています。それから三日そこに留まって、多くの石に「法華経」のお経文を書いて川

に沈められ、一字一石の供養をされたそうです。

七面大天女

建治三年十一月のある日のこと、大聖人様は沢の岩の上で説法をされていました。すると、聴衆の中に緑と赤の着物を着た年の頃二十歳くらいの美しい女性がいました。聴衆はこの女性は誰だろうと不思議に思っていました。説法が終わってから、大聖人様が「本当の姿を現しなさい」と問いかけられると、女性は笑みを浮かべて、「私は七面山の天女です」と答え、「水を下さい」と頼みます。さつと、傍らの花瓶の水を与える、と、傍らにかき曇り、その女性は



突然二丈ほどの大きな龍に姿を変え、強い風と渦巻く雲の中、西の空へと飛び去りました。七面大明神が「法華経」の説法を身を変じて聴聞していたのです。

蒙古襲来

弘安四年の蒙古襲来の折、鎌倉幕府が大聖人様にご祈禱を依頼したそうです。長さ六尺五寸、幅五尺五寸の大きな旗を作り、その片面には太陽を、別の面には月を描き、四隅に四大天王、八方に八大龍王を描き、さらに太陽と月の上の中央に大曼荼羅ご本尊を書かれました。大聖人様は、この旗を幕府に献上しました。大将宇都宮貞綱と三万人の軍勢はこの旗を持って進軍し、筑前博多の山の上に立てました。すると、突然暴風雨が発生して蒙古の軍勢を木の葉の如く吹き飛ばしたそうです。大聖人様の不思議な力によって、日本の軍勢は血を流すこと無く勝利しました。

私達に与えられたお題目のご利益

日蓮大聖人様にまつわる不思議な出来事「霊験記」は、取り上げれば枚挙に暇がありません。「法華経」の経力は其の儘大聖人様そのものでもあったのです。これこそ「法華経」の冥益(目に見えないご利益)、顕益(不思議なご利益)であります。私たちが頂いている霊断法や俱生神月守、これまた法華経のお題目の神秘にほかなりません。

津軽宇田山 閻法寺
毎朝 5時半より「朝勤祈禱会」
6月30日(日) 「七面天女大祭」
毎月 第2土曜日
午後3時より「唱題修行」
〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平舘元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住職 工藤 堯幸
副住職 工藤 堯慎・修徒 工藤 堯顯

日蓮宗 東光山妙正寺 聖徒団
妙正寺聖徒団 澤田亮巳
毎月1日午前10時 盛運祈禱会
6月13日(日) 12時 開壇大講
6月22日(土)午後7時 宗祖日蓮大聖人御会式 御遠夜法要
6月23日(日)午前10時 宗祖日蓮大聖人第732回忌御会式法要 妙正寺開基90周年記念
毎月1日午前10時 盛運祈禱会
妙正寺聖徒団 团长 関 龍雄
〒071-1423
北海道 上川郡 東川町 東町 2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび
美濃乃國 常唱寺 聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙顕寺
佐野 日蓮大聖人御真骨奉安
齊藤日軌貫首著
「日蓮宗の戒壇、その現代的意義」
国書刊行会
CD「感謝百万遍陀羅尼」好評発売中!
CD「ないないブルース」
〒327-0843
栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myoukenji.jp

日蓮宗霊断師会会長
感通寺聖徒団团长
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966



奉告式にて大導師をお務めになる新聞智雄会長
5月12日



唱題修行“妙”のともしびと共に 5月11日



身延山久遠寺大本堂に集う聖徒の皆様 5月12日



内野日総猊下の御経頂戴を賜る 5月12日



【第四十八回全国結集身延大会厳修】

平成二十五年五月十一日(土) 唱題修行・千燈供養
十二日(日) 身延大会報告式

詳しい記事・写真は次号に掲載致します

聖徒の声

広島県福山市・常國寺聖徒団に於いての

「第一回清道衆講習会」を受講して



常國寺聖徒団
森賀美枝子

せて頂いておりましたが、その日は用事が有り、お参りが遅くなっていた為焦っていたのかもしれませんが、お寺の仁王門前の道は植木の垣根が伸び、少しカーブになっている為に見えにくく見通しが悪いのですが、いつもの様に車で下っていたその時、突然、視界の中に対向車が入ってきたのです。

この度「第一回清道衆講習会」に参加させて頂き、日蓮大聖人様のおしえを学びました。ユーモアを交えての吉田先生のお話はとても判り易く、日蓮大聖人様の偉大さ、日蓮宗の教えを理解できました。お寺へ入寺された当初は、仏に仕える身でありながら心がくもった日々があったが、心を磨くことで聖徒に支えられ、お寺が榮えてきたとの先生の体験談をとおして、南無妙法蓮華経の有難さや、心の持ち方で周りを変っていく十界の心についてのお話は、とても心に響くものがあり、感動を覚えました。

「あつ！ぶつかる」思わずハンドルを切りましたが反対方向は木が目の前。「わあ！危ない、ぶつかる」絶対に避けられないと身構えていた私でしたが、ところが不思議なことに木を外し、逃れて車は止まりました。ただ放心状態で呆然としていました。が、ふと我に返り、対向車の男性に声を掛けてみました。「大丈夫ですか」相手の方もびっくりして、やっ」と「はい」との言葉が返って来ました。

常國寺様には、自身の心を磨く研修の機会を与えて頂き感謝します。本日の研修にて一層信心を深め、精進して行こうと思いを強くしました。吉田上人様には、お忙しい中遠くよりお越し頂き、本当に有り難うございました。

九死に一生とはこの事です。相手の方も無事、正面衝突の重大事故は免れたのです。思わず胸の「俱生神月守」を握り「南無妙法蓮華経、有難う御座います」と言葉に出しておりました。

常國寺聖徒団 四〇歳代女性(Y.S) 私が常國寺様にご縁を頂き、毎月の盛運祈願会に参加し、「俱生神月守」を着帯して四年が過ぎる五月のある日の出来事です。私は時間が空けばお寺へお参りさ

人生本当に思わぬ出来事が起き、いつ魔が入って来るか分かりません。そんな時こそ、同生天様、同名天様が最大限の力を発揮して守護して下さいと思います。その御恩に報いるべく、御題目を一所懸命にお唱え

し、心から感謝の念を持ち、安心して着帯させて頂いております。

常國寺聖徒団 四〇歳代女性(R.Y) 私が「俱生神月守」を身に付けさせて頂いて十三年余が過ぎました。それは妊娠がきっかけでした。幼少の頃から両親の離婚、借金問題など幸せな人生とは言えない生活の上、未婚の母となる決心をした為に、とても将来が不安な気持ちでおりました。

無事出産致しましたが、女手ひとつで子供を育てることは決して楽では無く、何度も挫けそうになりました。しかし、不思議とその度に思いもよらない変化の方々助けられ、今現在は良い仕事、良い人達に恵まれて不安の無い安心な生活しております。

必死で頑張っていた時には気が付きませんでした。今思えば迷い事があつた時、九識靈断法で指導があり、毎月着帯する「俱生神月守」とお唱えする御題目のお陰で守護して頂き、いろんな問題が解決出来ただと改めて感謝し、心から有難いと思います。

今は親子で常國寺様の無縁供養塔・水子観音様の浄行奉仕を、月二回させて頂き、健康で安心な生活を送っております。今後もお守を着帯し、益々御題目修行に精進して頑張ります。

第三十四回 日蓮大聖人の歩まれた道 鎌倉での修学



総合研究所
教学研究部長
小泉 輝泰

「生年十二同じ郷の内清澄寺と申す山にまかりて、遠国なるうへ、寺とはなづけて候へども修学の人なし」
(本尊問答鈔)

このお言葉通り、清澄山では既に学ぶべきものも尽き、辺国故に訪ね来る師も滅多にありません。向学心旺盛な蓮長の心は満たされることなく、いよいよ諸国遊学の決意をしたのも当然のことであつたでしょう。

歴仁元(一二三三)年、十二の頃より五年にわたり修学に励んだお山を後にし、いまだ出会うことなかつた学問や師を求めて、諸国遊学への第一歩を踏み出したのです。出立の時節は定かではありませんが、前回ご紹介した『円多羅義集』の奥書に同年十一月に清澄山内での書写とありますので、恐らくは暮れも押し迫った向寒の中、清澄山を下りられたのではないのでしょうか。

蓮長がまず最初に向かったのは、当時政治の中心地となっていた鎌倉でした。



頼朝が幕府を開いてより五十年、京都より遠く離れた東国の地とは申せ、今や政治の中心地となった鎌倉では、都に引けを取らぬほどの様々な文化が花開いていました。

当然のことながら、名だたる高僧も武家の庇護の下に集められ、大陸伝来の新しい学問が次々に伝えられて来るのです。蓮長は希望に目を輝かせながら、一路鎌倉の地を目指したことでしよう。

さて鎌倉に着いた蓮長は・・・、このままお話を進めたいところですが、それはまた次回以降に譲りまして、その前にここでいつもの寄り道を一つ。
「諸国遊学」と聞いて、皆さんは何を思われますでしょうか。「そうそう、ここか

ら本格的な佛教の研鑽が・・・と素直に受け止めたところですが、ひねくれ者の私などは、「その費用はどこから?」といらぬ勘ぐりをしてしまします。

より深い学問を目指すならば「遊学」あるいは「留学」と言われて、何も違和感を感じないのは、豊かな現代の日本人ならではの感覚です。当時諸国へ遊学に出るともなれば、まずは目的地までの路銀をいかに確保するが大変な問題なのです。

もしも旅支度が調えられたとしても、行く先々のお寺や学問所で受け入れて貰うには、これまた大変な力(後ろ盾)が必要なのが当然のこと。
そこにはいかなる秘密があつたのか・・・、とても興味深いところですね。

よるこびちゃん の質問箱



よるこびちゃん

六月は紫陽花の季節、あじさいについて教えて。

この季節を楽しませてくれるあじさいの花は、紫や赤、青などいろいろな色を見かけるわね。
みなさんのお家の周りのあじさいは何色かしら?
この色は花自身が決めているのではなく、咲いている場所の土になことなのね。



私たちも部屋を片づけたり、環境を整え、これからの経験や出会いによってより良い色に変化して行きましよう。
お題目はお天道様、みんながお天道様に向かって大輪の花を咲かせますように。
雨ばかりで鬱陶しい梅雨も、あじさいの色と一緒に楽しみながら過ごしましようね

法華経のお話 23



総合研究所主任
塩入 幹 丈

無量義経の段その二十一

大轉輪王小轉輪王。金輪銀輪諸轉輪王。(無量義経徳行品第一)

① ミッションの価値は、正しい行動をもたらすことにある
(ピーター・F・ドラッカー)

正法・像法・末法三時のうち、最も恐るべき時代、絶望と恐怖が支配する末法万年の時代に、いったい誰が法華経を流布していくのか・・・。

いわば佛教史上最難関といえる、このミッションに答えんがため、第十五章(從地湧出品第十五)にて満を持して登場された方たちこそが、我らの上行菩薩様(日蓮大聖人)をリーダーに頂く地涌の菩薩の方々たちだったのである。

この、いわば菩薩グループの永久センターともいべき、地涌の菩薩の陣に呼応するが如く、続く第十六章あまりにもお馴染みの如来寿量品第十六)にて、お釈迦様もついにその神秘のペールを脱がれ、壽量ご本佛たる真のお姿を顕現されることとあいなったのです。

さらに第二十一章(如来神力品第二十一)において、ついに法華経の要たるお題目が、ご本佛お釈迦様から上行菩薩様たちへ託されることとなるわけなのです。

② 私は太平洋の橋になりたい
(新渡戸稲造)

つまり地涌の菩薩の登場からこそ最大のイベントが目白押しとなるわけ



しかも薬王菩薩の活動は、ただそれだけで終わることはありません。神力品第廿一において、お題目を地涌の菩薩たちへ託されたお釈迦様は、続く第廿二章(囑累品第廿二)にて、その場に集結されていた全ての聴衆に対し、あらためて法華経を託し、滅後の流布問題を補充されました。
妙法蓮華経八巻廿八品(さらには法華三部経十巻)における一番肝心のテーマはここで完結します。

ゆえに上行菩薩様をはじめとする地涌の菩薩たちは、全員その場から立ち去っていかれます。来たるべき末法のその時まで、お隠れになられたのです・・・。

要するに、これにて法華経一大絵巻ついに一巻の終わり!と、誰もが納得できる状況となつたわけです。
されど思いだして下さい。
孔明死すとも三国志演義終わらず。またポドルザー司令率いるゼントラーディ艦隊がミンメイの歌によって壊滅しても、超時空要塞マクロスは放映は終わることなく、さらには世紀末覇者拳王が天に還つても、ケンシロウの戦いの日々は終わらなかつたこと・・・。

そうです。実質クライマックスを迎えても、それでお話の全てが完結するわけではないのです。
お題目を託されし地涌の菩薩たちが去つて後も、法華経の説法はまだまだ終わらせません。

末法の問題がクリアするやいなや、話は一転、話題はなぜか薬王菩薩の前世、過去の因縁談とあいなるのです。



③ 試合は終わるまで終わらない
(ヨギ・ベラ)

そう、薬王菩薩こそは、お釈迦様ご在世と末法の橋渡しなんですわね。

よろこび法話

御題目を信じ、唱え、弘めることで、 み佛の世界があら顕われる



日蓮靈断聖 修研齋 齋藤 新 齋
島根県雲南市妙法寺聖徒団団長

新聞 信應

人は辛いこと、苦しいことから眼を背けがちになります。また、自分さえ良ければ、自分だけ楽しければという考えになりがちに
なったりします。昔の私もどちらかと言うと
辛いことはイヤで、自分の好きなことだけを
したい、楽しく生きていたいと思う方でした。
そうした考え方が行動に現れた時、回りの人
達と巧うまく付き合えることができるでしょうか。
できないはずで、その証拠に毎日のように
新聞やニュースなどで眼を覆いたくなるよう
な事件、事故、イジメ問題、環境問題といっ
たことが常に起きています。
本来、私達のこの肉体も精神も、今住んで
いるこの地も、壽量御本佛様と一体であり、
佛の身体も心も私達には皆平等に具わって
いるのです。しかし、佛としての身体も心も、

ただそのままの状態では何も意味が
ありません。そこで佛としての用もちき、振
る舞まいをするのが大切になってくる
のです。

私達のご先祖様から魂を受け継ぎ、
人を通じて御題目の信仰に目覚め、巡
り会い、この俱生神月守を着帯して
いる仲間の集まりです。全ての人が壽量
御本佛の世界から生まれて来たので
す。きっと私も、皆さんも、壽量御本
佛様の世界で御本佛様から優しく頭を
なでられながら、「私の代わりに御題目
を弘め、現実の世界を迷いや苦し
み、悩みがない佛の世界にして来な
さい。さあ、行って来なさい！」と背中
を叩かれて、この世に生まれて来たの
です。しかし、残念なことに私達は誰
も皆、この世に生まれてきた時にはそ
の役目を忘れていたのです。

どうか思い出して下さい。気付いて下さ
い。一人一人が役目を持って、父と母との縁
によってこの世に生を受けたことを。私には
私にしか出来ないことが、皆さんには皆さん
にしか出来ないことがあることを。この社会
の一員として個人の人生を歩みながら、総和
の人格を持って異体同心して、この世界を浄
土にして行くのです。



総和とは和を以てお互いを敬い、尊敬し、
尊重し、同じ志を持つものが一つの目標に向
かって歩むことです。私たちは凡夫です。凡
夫であるが故に道を誤ることもあるかもしれ
ません。その時に眼を瞑るのではなく、この
仲間が壽量御本佛様の道、社会の道、人の道
を歩む本当の友であることを、必ず信じて行
きましょう。そして、もしも道理に外れるよ
うなことがあるならば、正して気付かせて行
くことが本当の仲間であり、総和の人格なの
だということを心して参りましょう。
私達一人ひとりが素直な優しい気持ちで御
題目の信仰を勧めたならば、少しずつではあ
るけれど、この世界は必ず本当の浄土となる
はずで、
私達は、壽量御本佛様に背中を押されて生
れてきたのです。私達一人ひとりが佛の子で
あるということを知り、この社会に於ける
自分の役目、役割を果たし、御題目を信じ、
唱え、弘めて行く佛の振る舞いをするので、
理想の世界である大曼荼羅御本尊（み佛の世
界）が、この世に顕あらわれて来るのです。この
尊き信仰の道に進歩することこそが、私達聖
徒の使命であり、私達がこの世に生まれて来
た本来の役目なのです。

俱生神月守・ 靈断法のご案内

◆人にはみなそれぞれ「人生」という道がある。しかしその道の先はよくは見えず、地図もない。この先には大きな河が横たわっているかも知れず、大岩が障害物となつていたり、大岩が「今」のみを飄々と歩く。そして河に阻まれ打ちひしがれ、大岩を前に愕然とする。◆私たちが日蓮宗聖徒団には九識靈断法という秘法があります。◆これは俗に言う占いの類とは違い、日蓮大聖人のお教えから生まれた有り難い秘法です。◆カーナビのように河や大岩など人生の中で進むべき道を阻む障害物を見通し、その迂回路を指し示し目的地へと導いてくださいます。人事万般なんでもご相談ください。◆また聖徒団には俱生神月守という不可思議な御守があり、河の前には橋となり、大岩の前には梯子となり、困難を乗り越える力となつて護つて下さいます。◆難病を癒す不思議な護符もあります。◆充実した人生を歩むため、最寄りの聖徒団のある寺院、教会、結社へお出かけください。

本誌イラスト 小川けんいち

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

正立山 妙法寺番神聖徒団

団長 新聞 信應

毎月1日 10時
盛運祈願祭

お困り事はすぐ相談

神秘秘密の扉が開く時、
必ず利益がいただける。

〒690-2404 島根県雲南市
三刀屋町三刀屋1169
TEL 0854-45-3657
FAX 0854-45-3666

安房乃國隨一
三十番神祈願道場

顯本寺聖徒団

団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」

〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣莊嚴具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03 (3843) 6951
FAX 03 (3843) 6973
定休日 日曜日

北海道運輸局長
認証工場(第4-1095号)です!

お車のことなら
どんなことでも!!

車買取の エース
1.0166 34-3606

(有)キクチ自動車
〒078-8346
北海道旭川市東光6条6丁目190-100
TEL/FAX 0166-34-3606